

# FACE



# 技術を磨き 最善の結果を目指す



## THAでのこだわり

### 1. アプローチ方法

股関節へのアプローチ法は主に前方系、側方系、後方系に分類され、それぞれに一長一短があります。最小侵襲法のひとつである前方アプローチでは股関節周囲の筋肉をほとんど傷つけないため、術後の疼痛が少なく、筋力の回復が良く、リハビリが早く進むことを実感できたことから、私は現在、この方法を採用しています。

窮屈な進入路からの手術操作には慣れや工夫が必要で、手技の習熟に一定の学習曲線が存在するとも言われますが、私は2018年に前方アプローチを導入してから800件程度のTHAに携わってきました。当初は平易な症例を選んで適用していましたが、今ではほぼ全ての初回THAを前方アプローチで行えています。

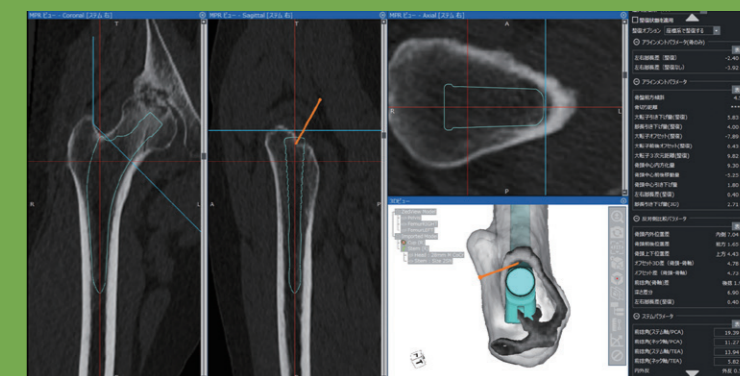
### 2. 使用インプラント

当科では骨盤側にはセメントレス固定カップを、大腿骨側にはセメント固定ステムを第一選択として使っています。セメント固定ステムは設置の手技が煩雑で手間暇がかかるため、一般的には双方セメントレス固定のものが使われることがほとんどです。しかし、十分な初期固定性と除痛効果が確実に得られること、繊細な脚長調整が可能で、いざという時には抜去も容易、などの理由から大腿骨側においてはセメント固定ステムに軍配が上がると考えており、このような組み合わせにしています。



### 3. 術前設計

前方アプローチでは必ずしも術野の展開性は良くないことから、術中骨折や設置不良などが起こりやすいという報告もあります。当科では2次元の設計図だけでなく、術前CTデータと専用ソフトを用いて3次元設計図の作成、シミュレーションも行っています。これによりどのサイズ・種類のインプラントをどれ位の位置・角度に設置するのが適切で、設置前後でどの部分の骨が邪魔になるか、など術中所見をより詳細に予想できます。また手術中は、計画通りの設置ができているかを適宜確認するようにしています。このように様々な知恵を巡らせて、安全、確実に前方アプローチTHAを行えるよう工夫しています。



### 股関節・脊椎・膝関節の各専門医師が在籍

整形外科は全身の運動器疾患を対象とするため、診療範囲が非常に広く、治療方法も多種多様です。専門領域の細分化が進んだ結果、国内外に非常に多くの学会が存在しています。

当院でも、股関節を私が、脊椎を谷田医師が、膝関節を前田医師が担当しています。各々が専門学会に所属し、日々研鑽を積んでいます。

2023年の当科の手術件数は、全体で約900件でしたが、股関節、脊椎、膝関節の3分野でその内3/4を占めていました。また、当院が近年救急診療に注力していることもあり、外傷関連の手術も増加傾向にあります。

### 人工股関節置換術(THA)とは

股関節の関節軟骨がすり減って関節痛が辛いという患者さんに、最終手段として行われるのがTHA (total hip arthroplasty)です。最も権威ある医学雑誌のひとつ、Lancet誌に“The operation of the century”、20世紀で最も成功した整形外科手術と紹介されたこともある(Lancet 2007;370:1508)、優れた手術法です。

#### 令和5年実績

人工関節置換術(股関節)実施件数 **238件**  
(内、再置換術の手術件数 **12件**)

簡単に言うと骨盤と大腿骨の一部を切除して替わりとなるインプラント(カップとステム)をそれぞれに設置するのですが、除痛効果に優れ、ADL(日常生活動作:食事、トイレ、入浴といった日常生活に欠かせない基本的な動作)の回復に貢献し、長期にわたって合併症が起きにくいことが高く評価されています。すでに高い完成度を誇る術式ではありますが、関節へのアプローチ方法や使用するインプラントの機種、骨頭径、摺動面の材質などいくつかの点で術者による選択の余地が残されており、今なお最善の結果を目指すべく熱い研究、模索が続いています。

## 運動器疾患の予防や治療で 健康寿命の底上げを目指す

2021年4月、コロナ禍の真っただ中に当科科长に就任しましたが、初めての滋賀、初めての管理職、初めての公務員で何かと慣れるのに時間がかかりました。幸い優秀な部下たちに恵まれ、医局からの人材派遣も徐々に増やしていただいで、やっと軌道に乗りつつあるという実感が持てるようになってきました。

そうこうしているうちに当院は2025年1月に小児保健医療センターとの統合を迎えようとしており、当科も大きな転換点に差し掛かっています。伝統と実績ある小児保健医療センター整形外科との統合は大きなプレッシャーでもありますが、これまで以上に良い医療をお届けするために粉骨砕身するつもりです。

日本は言わずと知れた長寿大国ではありますが、いわゆる健康寿命は平均寿命と比べておよそ10年も短いということはまだ知られていません。整形外科は運動器疾患の予防や治療をすることで、この健康寿命の底上げを目指す科と考えています。地域の皆さまに満足度の高い医療をお届けできたらと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

整形外科 科長

## 宗 和隆



京都大学博士(医学)  
日本整形外科学会 専門医・指導医  
2021年4月より当院に着任  
【略歴】  
1991～1997年 京都大学医学部  
2003～2007年 京都大学大学院  
2008～2017年 京都大学整形外科  
(股関節グループ)  
2017～2021年 大阪赤十字病院整形外科

### Information

#### 「病気と治療の検索サイト」公開中!



当院の高度専門医療、がん診療、一般診療、チーム医療について豊富な経験と高い専門性を有する当院スタッフが病気と治療方法についてイラストや写真を用いてわかりやすく解説した記事を掲載しています。

当院HPのパナーからご利用ください。



#### ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見やご感想をぜひお寄せください。

お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォームよりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌  
「FACE」に関するアンケートフォーム



心のふれあいを大切にして安全で質の高い医療福祉を創生し提供する。



滋賀県立総合病院  
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号

TEL.077-582-5031(代) / 0570-00-5031(ナビダイヤル)

[診療受付時間] 午前8時30分～午前11時 ※2科受診の患者様を除く

[休診日] 土曜日・日曜日、祝祭日/年末年始(12/29～1/3)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

滋賀県立総合病院

病院HP



# FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)

発行日：2024年3月

バックナンバーも  
ご覧いただけます

